

「地域に密着し住民の暮らしを見つめた医療機関として、地域住民の命と健康を守り、安心して暮らせる地域づくりに貢献する」という診療所の理念に基づき、単なる健康情報にとどまらず、広く生活や文化、地域づくりにまつわる話題を紹介します。

健康は誰のもの？

「あらかわいい、何ヶ月？よく寝てるわね。」

「いいえ、もうじき二歳になるし、実は、起きています。」

診療所に赴任した直後に生まれた私たちの3人目の子どもは、様々な障害を負って生まれました。二時間かけて面会に行くたびに毎回のようにならぬ問題が発生し、「頭のなかで出血しているようです」「痙攣が止まりません」「呼吸も不安定なので、呼吸器を付けます」と、帰りの車中はいつもどよりとじていました。

病状が悪化するたびに、医師は救命のために必要な処置について説明し、私たち夫婦は同意を重ねました。内心、ここまでやってはやりすぎではないか、という思いが頭をよぎっても、疑問を口にすることははばかられました。患者や家族の立場は、医療者が想像する以上に脆いのだと思ひ知らされました。

彼女の目はようやく光を感じる程度で、もうすぐ二歳になる今も首は座っていません。後から生まれた友人の赤ちゃんが、次々におすわりし、つかまり立ちし、歩き出すのを横目にみながら、ずっと生まれたての我が子を育てています。

彼女はこうして生かされていて果たして幸せだろうか、医療のお陰で命拾いしたこと、かえって辛い思いをさせていないだろうか、考えない夜はありません。



季節の花を届けてくださるきみ子さん

でも誰かに「病気でかわいそう」とか「医療の行き過ぎだ」と言われるのもなんだか違う感じがするのです。たしかに病氣も障害もあるけれど、いつもふわふわと笑う我が子が、幸せでないようにも見えませんが。

無理をしない言いかたを聞かせるのもいいかもしれません。でも、そんな無理も含めて、健康は私たち一人ひとりが生み出す、心の中の価値だと思っております。

健康はあなた以外の誰かが決めたり、与えるものではないと信じます。そして、村の診療所の医師として、あなたが健康で生きがいのある暮らしを送れるよう、微力ながら寄り添いたいと思っています。そんな思いで、健康福祉まつりでも白衣の背中を差し出しました。ですから、どうぞあなたやあなたの家族が何を大切に考えているか、診察室で、街角で、折に触れて教えてほしいと願っています。

白衣の背中

健康福祉まつりでは、どんぐりの森クリニックの木村先生、小海分院の山口先生、座光寺が参加するシンポジウムで、普段はなかなか医師に言えないこと、聞けないことを、白衣の背中に書き込んでもらいました。



「医者言うことはどのくらい信用できますか？」という豪速球から「痩せる薬、ありませんか？」という変化球まで、キャッチャーは大忙し。この白衣、しばらく診療所でご覧いただけるようにしておきます。

ミャンマー保健省視察

10月26日、JICAプロジェクトの一環で、ミャンマー保健省高官7人が診療所に視察に訪れました。市川八十吾さんを囲み、入植以来の医療の変遷について熱い議論が交わされました。



語りべの アジア医師団 来る秋 (良美さん)

診療所の履歴書(1)

「南牧村の医療は農村医療の原点」

老健こうみ施設長 清水 茂文



私が佐久病院での2年の研修を終え、清里聖路加診療所に赴任したのが、1972年の春でした。南牧の患者さんとここで初めて出会い、長い人は今でも老健こうみで診ています。聖路加では9年働きましたが、120床の新病院が竣工した日に「アメリカで勉強してこい」といわれ、体よく解雇されました。それが1981年春でした。

直後に故若月俊一先生から電話をいただき、再び佐久病院に戻り、主に南牧村診療所の医療を担当させていただくことになりました。ここで村の農村医療を初めて本格的に実践し、勉強する機会を与えていただきました。

外来診療は夜遅くまでやりましたし、胃カメラや超音波検査、レントゲン検査もやりました。村内の往診にも出かけました。これらの仕事は看護師(浅川松代・菊池裕子・吉沢春美)さんたちの熱意と努力によって支えられてきました。地域や家庭のなかの情報は保健師の菊池智子等に提供していただき、歴代の課長さん方には診療所運営上のご教示をいただきました。そして1990年春、故若月先生の人事命令で旧小海町診療所に赴任することになりました。

「こんな診療所になったらいいな」「こんな特集してほしいな」などみなさんのご意見をお聞かせください。

①診療所のスタッフや投書箱 ②E-mail minamimaki.clinic@gmail.com ③村役場住民課

発行：南牧村診療所 責任：座光寺正裕 デザイン：由井葉子 (E-mail:yuikodeep229@gmail.com)

診療所 基本情報

南牧村診療所	月	火	水	木	金
南牧村出張診療所	●		●	※	
	☎0267-96-2112 海ノ口駅直結				
野辺山へき地診療所		●			●
	☎0267-98-2875 野辺山駅1分				

外来受付8:30-11:00 午後は往診 ※第2木曜午後は眼科
当診療所は機能強化型在宅療養支援診療所として、24時間・365日、村民の皆様の在宅療養の「困った!」に応えます。